

「新市建設計画」を審議 第2・3回小委員会を開催

「新市建設計画策定に関する小委員会」の第2回会議が平成15年12月3日に、第3回会議が12月10日に、各務原市役所本庁舎4階大会議室で開催されました。

この小委員会は、合併協議の大きな柱である「新市建設計画」を審議し、合併協議会へ提案するため、現在、集中的に開催されています。

2回の会議では、6章からなる計画のうち、序論「合併の必要性と効果」「計画策定の方針」、第1章「各市町の現状と課題」、第2章「主要指標の見通し」、第3章「新市建設の基本方針」が、事務局から提案され、詳しい説明を受けた後、審議に入りました。

主な意見は以下のとおりです。

なお、12月中旬に1回、年明けに2回程度開催して計画案を取りまとめること、12月13日の合併協議会で中間報告すること、年明けの協議会で最終的に協議項目として提案することなどが確認されました。

【主な意見】

- ・日本初のパークシティ（公園都市）をめざす、というのは面白い。住民だけでなく世間にもアピールできるし、都市づくりの新しい仕掛けといえる
- ・「余暇」という言葉は使わず、「自由時間」に変更してほしい
- ・都市の空洞化が叫ばれる中、将来像を8の字状の都市構造とするのは、都市づくりの発想が、他市とは全然違う

※新市建設計画の素案については、膨大なページ数のため、紙面では紹介できません。ホームページをご覧になるか、市役所、役場の閲覧コーナーをご利用ください。

※協議会に提案された時点で、概要は掲載する予定です。

↓（広瀬委員回答（岐阜地域振興局長））
私は岐阜広域合併協議の委員でもあるのでお答えしたい。
順調にいけば岐阜広域は17年2月か3月に合併ということになり、こちらとは合併時期がずれる。その間、川島地区の消防分署をどうするかが問題。一般的には、合併すると広域連合から川島地区だけ脱退し、さらに新市が加入、新たな広域連合をつくることになる
社会教育事業（スポーツ関係施設）の取扱いについて
協議の結果、次のとおり承認されました。
「川島地区の『スポーツ関係施設』の休業日・使用時間・利用者の制限については、個別の施設ごとに新市において決定する。
使用料については、平成17年度は現行制度のままとし、施設の規模・性格を勘案しながら、個別の施設ごとに調整し、平成18年度以降に新市において見直しを行う。
なお、各務原市の『スポーツ関係施設』については、現行制度のまま存続する」
姉妹都市・国際交流事業（海外派遣事業等）の取扱いについて
協議の結果、次のとおり承認されました。
「国際交流事業（海外派遣事業等）については、原則として、各務原市の制度に統一するものとする。
ただし、小学生の海外派遣事業など川島町国際交流協会が主体となって実施している事業については、新市において決定する」

協議終了後、「合併協議項目」のこれまでの協議状況と、第11回以降の協議会開催日程が確認されました。第11回は12月13日、各務原市産業文化センターで開催されました。内容は次号で紹介いたします。
第12回は1月15日、午後2時から、各務原市産業文化センター1・8階第一特別会議室で開催される予定です。

●表紙のことば ● おすすめスポット《川島町》 人車制茶染機

川島町のくすり博物館、名前は知っていても、実際に訪れたことがある人は意外に少ないかも。

医薬に関する資料約5万点、図書約5万5千点を收藏し、そのうち常時3千点を常設展示しています。また、学芸員が調査研究した成果を紹介する企画展を年1回程度開催しています。入館料は無料です。さらに、付属の薬用植物園では約6百種類の薬草・薬木を一般に公開しています。

さて、館内に入ると目に付くのがこの機械。人車と書いて「じんしゃ」と読みます。まだ動力がなかった江戸時代に開発されたもので、大きな輪の中に人が2人入って足踏みをしながら、輪を回します。歯車が連動し、石うすが回ることです。薬草を粉にする仕組み。ここに設置してある機械は、江戸時代に梅ノ木（現在の滋賀県・栗東市）の薬屋にあったものの複製です。ほかに貴重な資料がいっぱいの、内藤記念くすり博物館（TEL0586892101）ぜひ訪れてみてください。